

# 令和4年度「教育課程等に関する企業様とのWeb意見交換会」報告書

開催日時：令和4年8月25日（木） Web意見交換会（13：00～14：30）

テーマ：「産業界が短大へ求める資質や知識並びに本学の教育等への取組みについて」の意見交換

会場：Web会議 本学参加者 B棟5階MM教室

出席企業：9社12名

本学出席：教職員7名

## 1. 実施の目的

本学は「For all the students ～すべての学生生徒のために」を経営理念とし、「丁寧な教育」を戦略の一つとして掲げ、教職員協働体制で学生指導にあたることを、中期経営計画で定めている。

18歳人口の減少により全国の大学・短大は学生確保に苦慮しているのが状況である。幸い本学は、ここ数年、志願者および入学者を確保できているが、この状況を安定的に継続することは容易ではないと認識している。

そのため、本学は「情報の短大」として、日進月歩する情報技術に対応し、ITを利活用できる優秀な社会人を輩出できるよう、令和2年度からPBL（問題発見・解決型学習）を組み入れた大規模な組織並びに教育課程の改編を実施した。今回は、本学の教育の質をより一層向上させるために、企業様から学生に求める資質や知識、並びに本学の教育内容等について率直なご意見をいただき、企業の方々の客観的な視点を取り入れた点検・評価を行い、社会的要請に対応できる教育課程へと改善していく狙いである。

## 2. Web意見交換会

進行及び趣旨説明

- (1) 学長挨拶
- (2) 学科説明
- (3) 就職の取組み
- (4) 企業様との意見交換
- (5) 総評（学長）

(4) 企業様との意見交換内容

- ① 教育課程に関する内容に対する企業様からの意見
- ② 就職支援に関する企業様からの要望

### ① 教育課程に関する企業様からの意見

（本学学生の能力や意識の水準、及び本学のカリキュラムへの意見等）

#### 〈意見1〉

貴学の学生は物静かであるが、自分の意見は持っていて興味のあることにも反応するので、能動的な部分を高めてほしい。社会ではコミュニケーション能力が重要なので自分から行動したり話しかけたりして周囲に溶け込められるようなカリキュラムを実施してほしい。

## 《意見2》

Excelのスキルとして、関数の使い方、セルの結合、図の操作、行列の追加削除、罫線の修正等の基本的な部分を習得できていれば業務に支障はない。

## 《意見3》

今回、24年ぶりに貴学の卒業生を採用した。社外のIT企業新人合同研修に参加させたが、同期となる大卒、専門学校卒と比較しても差はなく、コンピュータの基礎や実践においては好成績であった。また、同期や先輩ともしっかりとコミュニケーションを取り明るく元気にやっているので問題はない。

## 《意見4》

弊社はIT関連業務で、お客様先へ在中しての業務となるのでコミュニケーションを重視している。貴学の学生は素直で学ぶ意識はあるが、受け身な部分もあり指示待ちな所もあるので積極的に先輩等にアドバイスを受けるなどしてコミュニケーション能力を高めてほしい。

## 《意見5》

弊社はお客様先での業務となるためコミュニケーション能力を重視している。採用試験時の面接において、アピールする力や人を説得する力を採用ポイントとしているため入社後はしっかり活躍している。

弊社はシステム開発の他にもインフラや保守などの業務を行っているが、企業説明会だけではなかなか伝わりにくい部分もあるので、可能であれば貴学のPBL授業を通してやらせてほしい。

## 《意見6》

弊社は2~3年前から採用を拡大していて、若手も増えている。会社として若手に活躍の場を意識して増やしている。また、給与や昇格は学歴で区別するのではなく同じスタートラインで評価している。若手には積極的に主体性を発揮しリーダーとして活躍してほしい。

大学への要望としては、文系理系関係なく主体性を高められるようなカリキュラムを提供してほしい。

## 《意見7》

弊社は4年生制大学からの採用が主だが、今回採用した貴学からの学生は元気でコミュニケーション能力が高いと感じている。10月までは安全・技術研修を実施するが、貴学からの学生はトップクラスで優秀である。弊社が期待することは、技術系は入社してからも学べるので基礎的な部分及び主体性のある学生を育てていただきたい。また、施工管理が主となるため、貴学の課題解決型学習を更に高めて授業でやっていただければ即戦力になると思う。

## 《意見8》

弊社に入社した貴学の学生は、非常に高い意識を感じている。採用面接時においてもエンジニアとかモノづくりやソフト開発に対しての思いが非常に強いと評価している。貴学への進学においても開発ができる大学なので迷わず受験したとのこと。

カリキュラムにおいても貴学の学生は教員の熱心な指導に満足している。本質部分からすればエンジニアやモノづくりに対しての熱量を掻き立てるようなカリキュラムがあれば更に就業につながると思う。

## 《意見9》

貴学からの社員はコミュニケーションがしっかりしていて、入社時から指導することも少ないので貴

学での教育がしっかりしていると感じる。

貴学のカリキュラムに関して特に要望はないが、情報学科において基礎言語や情報リテラシーなどの基礎をしっかり固めてほしい。弊社もお客様先での業務となるため大学で学んだ知識を発揮できるよう弊社でも新人研修において学習の復習やビジネスマナー等の基礎を研修で行っている。

## ②就職支援に関する企業様からの要望等の意見

### 《意見1》

貴学のプチカフェに参加でき、弊社としても助かった。学生も企業の話聞く機会が増えることは大事だと思う。また、卒業生との交流も今後やっていただけると、本人や学生にとっても刺激になると思う。

### 《意見2》

貴学の学生は基本が出来ていて、挨拶やメールにおいてもビジネスマナーに則り対応ができています。要望としては、面接時において4大学生と比べると短大生は学生生活が短い分、課外活動やアルバイト等の時間が取れないため、アピールポイントが少ないので増やす事ができるような対応をしていただきたい。

### 《意見3》

弊社としては、就活においてはWebより対面での面接を実施したいと考えています。貴学は、対面での面接が多いので非常にありがたい。今年、貴学の学生に内定を出したが辞退となった。残念ではあったが本人からの辞退連絡において、手紙及び電話での対応がきちんとしていると感じました。

### 《意見4》

貴学の学生は連絡のレスポンスが良く、短大は学生一人ひとりに目が届いていると感じる。また、企業との連携の部分において基礎知識の復習を大学に戻って出来るようなシステムがあれば安心して社会人生活できると思う。

### 《意見5》

貴学の授業に参加した際、授業の始まりと終わりに挨拶することや、授業の終わりに質問を受けたりと教職員とコミュニケーションが取れていると感じました。

弊社としては、企業説明会においてはWebと対面を組み合わせたい。

### 《意見6》

弊社としては技術力も必要であるがまずはヒューマンスキルを大事にしている。当たり前のことではあるが挨拶、マナー、礼儀等は新人のうちに身に付けられるようにしている。貴学のプチカフェに参加した際も挨拶に始まり終わる部分は弊社と同様であり感銘した。人として当たり前のことを引き続き行うことが学生のためになり将来につながると思う。

### 《意見7》

貴学の就職支援において学生と教職員との距離が近いと感じる。学生一人ひとりに寄り添った支援を行っていることを合同説明会で学生から話を聞くことができる。弊社は面接において、自分の考えや自

分の言葉でしっかりと話せることを重視している。貴学の PBL 科目でもプレゼンを通して能力の高い学生の育成に繋げてほしい。

#### 《意見 8》

弊社は、内定承諾者に対して入社前までに準備プログラムとして色々な課題を課しているのですが、貴学の支援の強みでもある学生への声掛け、一人ひとりに対してのホローアップをしていただけると有難い。

#### 《意見 9》

貴学のカリキュラムや人材像に関しては共感できるし、力強く生きていくために身に付ける必要があると感じる。弊社の社員は、生涯を通してエンジニアとして全国で長く活躍していくので、大事なポイントは技術を学ぶことが楽しいと思えることである。貴学の PBL 科目も自主的実務的なもので、リテラシーの部分に含まれると思うので、そういう観点で学生に指導いただきたい。

### 総評(学長)

短大は2年間という限られた期間なので、「基本の基」である情報リテラシーとビジネスリテラシーを大事にしたい。色々な学生がいるので意識付けや動機付け、表現力も含めどうするかが重要である。今後、企業の皆様に期待いただけるよう教職員が学生に対する情報のアンテナや感度を一層上げ、アフターケアも含めて対応していくことが必要である。

学科説明においてデプロマポリシーの項目の中で一番に「社会人の構成員としてリテラシーを身に付けた人材」を持ってきたことは、企業様にもご理解いただき、方向性も含め間違っていなかったと思う。

本日、示いただいた貴重な意見は教職員共々今後反映させていくよう努力する。

以上